

器具器械54
一般医療機器 医科用捲綿子 10172000

シードスワブ[®]γ1号‘栄研’

再使用禁止

【禁忌・禁止】

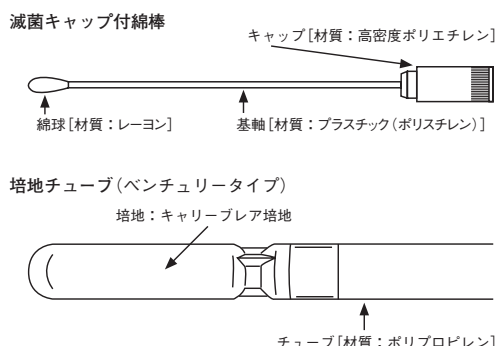
再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

プラスチック軸の片側先端部に化学繊維綿を巻き付け、それをキャップに取り付けた滅菌キャップ付綿棒と、培地チューブ（ベンチュリータイプ）をセットにしたものである。

細菌試験に使用する検体（糞便、一般検体等）を捲綿子（滅菌キャップ付綿棒）で採取し、培地チューブに入れて保存及び輸送を行う。

本製品はγ線照射滅菌、及び窒素ガス充填包装品である。



キャリアブレア培地（組成：培地1,000mLあたり）

塩化ナトリウム ……5.0g リン酸二ナトリウム ……1.1g
塩化カルシウム ……0.09g チオグリコール酸ナトリウム ……1.5g
カンテン ……5.6g

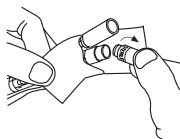
pH 7.2±

【使用目的又は効果】

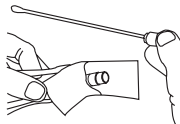
身体の一部及び体内に、薬剤を塗布又は治療を適用すること、又は検査のための試料を採取することを目的とした器具をいう。アプリケーションには様々な種類があり、通常、専用の機能をもつ*。
*上記事項は、クラス分類告示の一般的名称の定義からの抜粋。

【使用方法等】

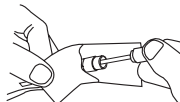
- 1) 本品の袋上部の開封口を開け、中の培地チューブのキャップをねじって開ける（キャップは廃棄する）。



- 2) 滅菌キャップ付綿棒を取り出し、検体を採取する。



- 3) 検体を採取したキャップ付綿棒を培地チューブに挿入し、キャップをしっかり閉める。



＜使用方法に関連する使用上の注意＞

- 1) 綿棒を強く押したり、過剰に折り曲げると基軸が折れる場合があるので、使用時に綿棒の基軸を折らないよう注意すること。

- 2) 便検体は排便された便から採取すること。
なお検査の必要上、肛門から便を直接採取する場合、捲綿子基軸からの綿球のはずれ、綿球の肛門内への残留、その他基軸の折損や採取手技等により、基軸の先端で被験者の肛門や直腸を傷つける恐れがあるので、直接肛門から便を採取する場合は施術者の責任で十分注意を払い実施すること。
- 3) 検体採取はできるだけすみやかに実施すること。
(検体採取に長時間かかった場合、綿球が取れる要因になる。)

【使用上の注意】

- 1) 本品の凍結及び急激な温度変化は避けること。
- 2) 本品は検体採取と保存輸送以外に使用しないこと。
- 3) 綿棒による検体の採取は、十分習熟した人の指示のもとに実施すること。
- 4) 全ての検体は病原菌に汚染されているものとして、注意して取り扱うこと。
- 5) 採取後の菌の生存状況は、菌種、菌量、保存温度、輸送時間等、種々の要因によって影響を受けるので、採取した検査材料は速やかに検査すること。やむを得ず検査材料を保存する場合には、冷所で保管すること。
- 6) 検体の保存輸送の際には必ず容器を密閉すること。
- 7) 製品に破損、汚れ、曲がりなどの異常を認めたときは使用しないこと。
- 8) 本品はγ線照射滅菌処理を施しており、γ線照射の影響で、一部綿球等が着色する場合があるが、性能等に問題はない。
- 9) 使用後は速やかに滅菌処理して廃棄すること。廃棄の際は、医療廃棄物等に関する規定や水質汚濁防止法等の各種規制に従い、各施設の責任において処理すること。

【保管方法及び有効期間等】

貯蔵方法：5～30℃（禁凍結）

有効期間：1年8ヵ月間

【包装】

製品名	包装	製品コード
シードスワブγ1号‘栄研’	100回分	E-MS60

【主要文献及び文献請求先】

主要文献

- 1) Cary et al.: J.Bacteriol., 88: 96, 1964.
- 2) 佐野 和三, 他: 臨床と微生物, 30: 417, 2003.

文献請求先

栄研化学株式会社

お客様相談窓口 フリーダイヤル ☎0120-308-421

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

栄研化学株式会社

〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地

製造業者

コパン COPAN ITALIA S.p.A. (イタリア)

製造販売元



栄研化学株式会社
栃木県下都賀郡野木町野木143番地

製造元

Copan

COPAN ITALIA S.p.A. (イタリア)